

平成28年度行政事業レビューシート（厚生労働省）

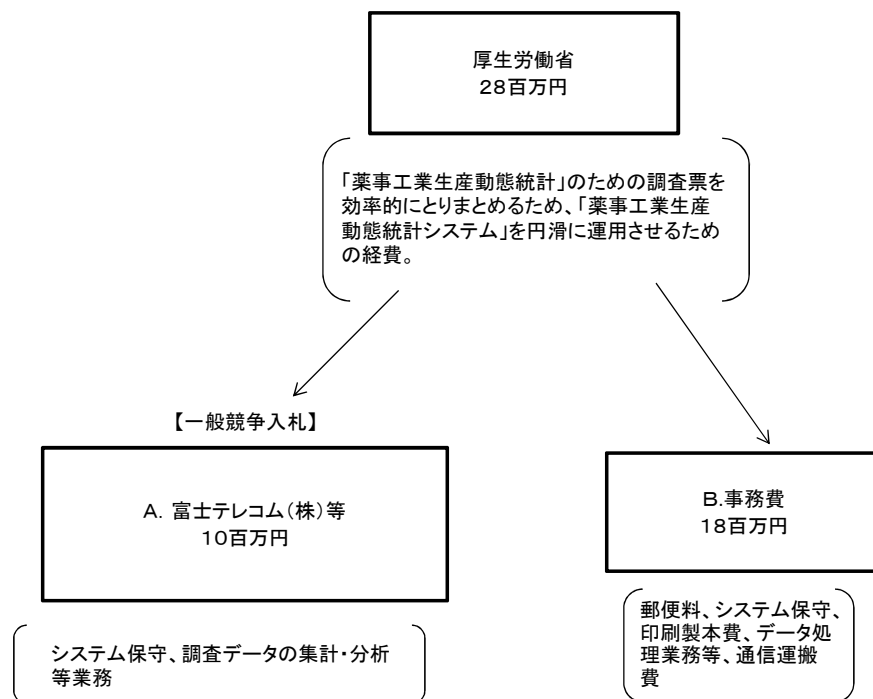
事業名	薬事工業生産動態統計システム経費			担当部局庁	医政局			作成責任者			
事業開始年度	平成12年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	経済課			課長：大西 友弘			
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	薬事工業生産動態統計調査規則、統計法、統計法施行令			関係する計画、 通知等	統計調査等業務の業務・システム最適化計画						
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	統計法に基づく基幹統計調査として、医薬品、医薬部外品、衛生材料、医療機器及び再生医療等製品に関する毎月の生産(輸入)等の実態を明らかにする「薬事工業生産動態統計」を作成している。統計を効率的に作成するため、「薬事工業生産動態統計システム」を整備・運用することにより、迅速に統計表を公表することを目的とする。										
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	「薬事工業生産動態統計システム」に係る以下①～③の業務を実施する。 ①政府統計共同利用システムに対応した調査票を作成するための事業者用ソフトウェアの作成・運用支援業務 ②①で作成された管轄事業者の調査票をとりまとめるための都道府県担当者用ソフトウェアの作成・運用支援業務 ③厚生労働省用システムを使用し、全調査票データを取りまとめ、データベースの管理や統計表を作成するための業務										
実施方法	直接実施、委託・請負										
予算額・ 執行額 (単位：百万円)	予算 の 状 況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求				
		補正予算	-	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-	-					
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-					
		予備費等	-	-	-	-					
		計	32	29	30	78	24				
	執行額		31	29	28						
	執行率(%)		97%	100%	93%						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 27 年度
	この事業は、省内各部局が実施している各種政策に必要な基礎資料を得ることを目的として実施しているものであり、年次・周期調査を1年以内に公表する。		年次・周期調査を1年以内に公表。		成果実績	%	100	100	100	-	-
					目標値	%	100	100	100	-	100
					達成度	%	100	100	100	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	統計法に基づき年次・周期調査は1年以内に公表する。		活動実績	%	100	100	100	-			
			当初見込み	年度内	24	25	26	27			
単位当たり コスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	薬事工業生産動態統計システム経費の執行率		単位当たり コスト	百万円	31	29	28	29			
	単位当たりコスト=X/Y X:「薬事工業生産動態統計システム経費執行額」 Y:「薬事工業生産動態統計年報発行回数」		計算式	X/Y	31/1	29/1	28/1	29/1			
平成28・29年度 予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目		28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	職員旅費		0	0	平成28年度は政府共通プラットフォームへの移行費用が含まれているが、平成29年度は例年どおりシステム運用経費のみとなったための減(54百万円)。						
	医薬品審査等業務庁費		78	24							
計		78	24								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	施策大目標8 革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること											
		施策	革新的な医療技術の実用化を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること(施策目標Ⅰ－8－1)											
		測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 年度	目標年度 年度				
				実績値	-	-	-	-	-	-				
				目標値	-	-	-	-	-	-				
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係													
	「薬事工業生産動態統計システム」を整備・運用することにより、医薬品産業等の振興施策を講じる上で重要な基礎資料となる統計表(医薬品等に関する毎月の生産、出荷等の金額・数量に係る統計表)を迅速に公表する。													
	経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-									
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度				
				成果実績	-	-	-	-	-	-				
			目標値	-	-	-	-	-	-					
			達成度	%	-	-	-	-	-					
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度					
			成果実績	-	-	-	-	-	-					
			目標値	-	-	-	-	-	-					
			達成度	%	-	-	-	-	-					
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係														
-														

事業所管部局による点検・改善				
	項 目		評 価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	統計法に基づく基幹統計調査であり、厚生労働行政をはじめ各種施策の基礎資料を得ることを目的とするため、国が実施すべき事業である。また、経産省所管の鉱工業指数等に使用されるなど公共性は高い。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	統計法に基づく基幹統計資料であり、厚生労働行政をはじめ各種施策の基礎資料を得ることを目的とするため、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	統計法に基づく基幹統計資料であり、厚生労働行政をはじめ各種施策の基礎資料を得ることを目的とするため、国が実施すべき事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	統計データ処理業務やシステムヘルプデスク業務については、一般競争入札を実施し、競争性が確保されるようにしている。少額の機器保守のみ随意契約。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	必要最低限の費目・使途に限定した予算執行を行っている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		-	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	オンラインでの報告を可能にしている。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	見合っている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みに見合っている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	調査データについては、厚生労働行政をはじめ各種施策の基礎資料、都道府県別の薬事統計作成や経産省所管の鉱工業指数等に使用されている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-	-
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	
	-	-	-	
点検・改善結果	点検結果	統計体系の根幹となる基幹統計を作成するための調査として位置づけられ、医薬品、医薬部外品、医療機器及び再生医療等製品に関する生産の実態等を明らかにすることを目的として毎月調査を実施し、これらをまとめた年次・周期調査を1年以内に公表している。薬事工業生産動態統計調査を例年実施・公表することにより、施策の基礎資料としての活用のほか、業界団体における調査研究等に利用されている。また、経済産業省所管の鉱工業指数や都道府県別の薬事統計作成用調査データを提供している。統計データ処理業務やシステムヘルプデスク業務については、一般競争入札を行い競争性を確保している。		
	改善の方向性	年次・周期調査の公表について、統計法第8条において1年以内に公表することになっている。平成21年までの年次・周期調査は、1年以内の公表ができなかったが、集計を速めた結果、平成22年以降の年次・周期調査は1年以内の公表を行っている。27年の年次・周期調査も1年以内に公表予定。		

外部有識者の所見							
点検対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見							
現状 通り		本事業は、医薬品、医薬部外品、医療機器及び再生医療等製品に関する生産の実態等を明らかにすることを目的として、年次・周期調査を公表するものであるが、滞りなく公表されていること、また、執行率も適切であることから、引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
執行等 改善		平成28年度に政府共通プラットフォームへの移行を行い、システム運用の効率化を図る。					
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	235	平成23年度	210	平成24年度	177		
平成25年度	204	平成26年度	217	平成27年度	226		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.富士テレコム(株)			B.日本郵便株式会社		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	薬事工業生産動態統計データ処理業務等	7	通信運搬費	郵便料として	10
	計		7	計		10

支出先上位10者リスト

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)富士テレコム	6011401007346	薬事工業生産動態統計調査システム業務	7	一般競争入札	3	58.4%	-
2	システム・アナライズ株式会社	3010001019663	薬事工業生産動態システムヘルプデスク業務	3	一般競争入札	4	69.2%	-

B								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	日本郵便株式会社	1010001112577	郵便料として	10	随意契約 (その他)	-	100%	-
2	統計印刷工業(株)	6010001024875	薬事工業生産統計月報(12月～5月分)	1.2	随意契約 (少額)	-	100%	-
3	統計印刷工業(株)	6010001024875	薬事工業生産統計月報(6月～8月分)	0.7	随意契約 (少額)	-	100%	-
4	統計印刷工業(株)	6010001024875	薬事工業生産統計月報(9月～11月分)	0.7	随意契約 (少額)	-	100%	-
5	(株)太陽美術	1011001013468	薬事工業生産動態年報印刷業務	2	随意契約 (少額)	-	100%	-
6	協新流通デベロッパー	5010601000566	薬事工業生産動態月報梱包・発送業務	1.8	随意契約 (少額)	-	100%	-
7	大和総合印刷(株)	6010001021699	薬事工業生産動態統計調査票印刷業務	1.6	随意契約 (少額)	-	100%	-
8	(株)メディア総合研究所	4011001041557	資料翻訳業務	0.2	随意契約 (少額)	-	100%	-
9	株式会社大崎京浜営業所	-	薬事工業生産動態統計調査システム用機器廃棄作業	0.2	随意契約 (少額)	-	100%	-
10	(株)富士マイクロ	2330001004080	薬事工業生産動態統計調査事業者システムCD-ROM製造	0	随意契約 (少額)	-	100%	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契 約 先	法 人 番 号	業 務 概 要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1		-	-	-	-	-	-	-	-